

オビスギかおるまち

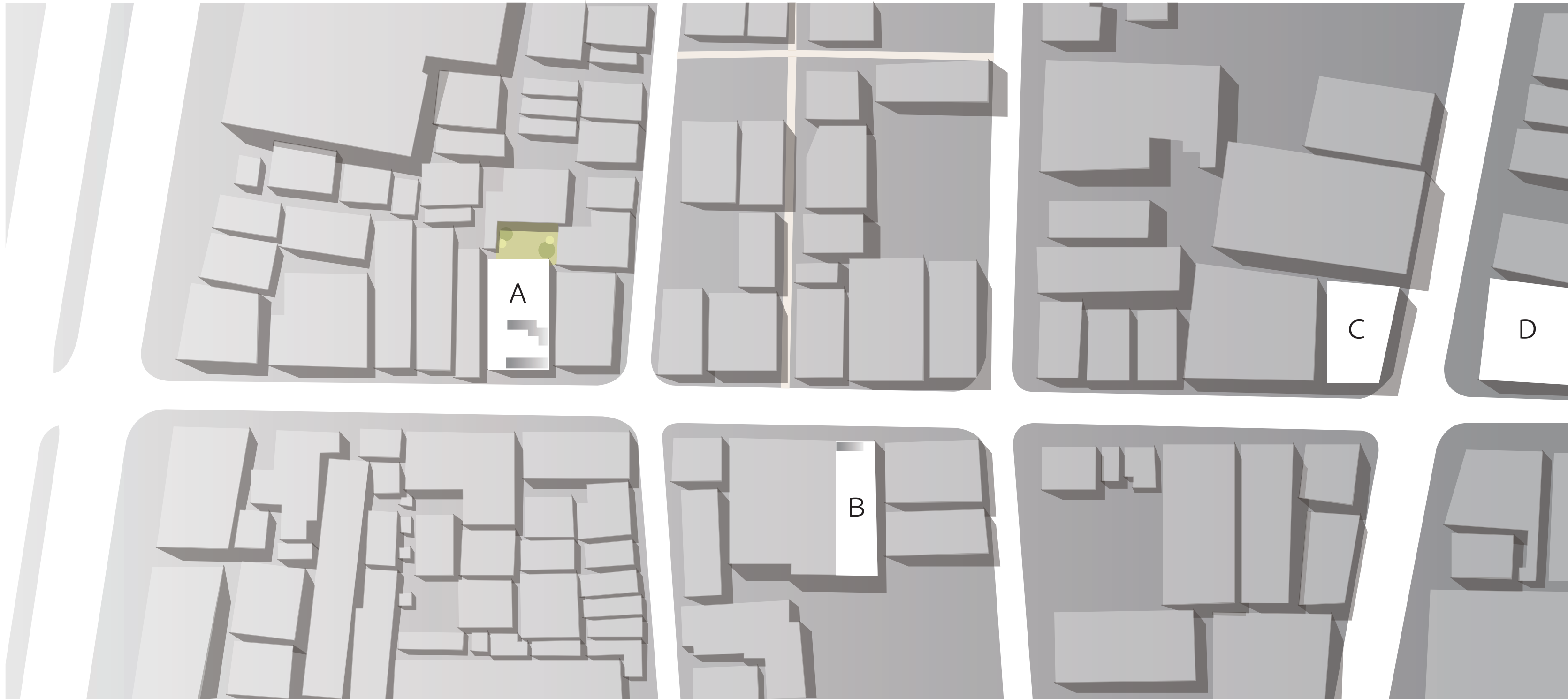
～「商店街の衰退」「飢肥杉林業の衰退」2つの観点から～

まっすぐに伸びた飢肥杉。染色時間で多様な色を織りなす貝紫の染物。繊細な工芸品。青々と育った竹林。美しい海。温かい心を持った人々。自然豊かな風景。

宮崎県には数えきれない程の地域資源や、財産がある。しかし、県内規模で見てもごく一部の人にしか認識されていない現状。

そこに住む人々は、それらを、当たり前の日常の見飽きた景色の一部。その様に考えるのだろう。

一度宮崎県を離れたからこそわかる、それらの価値やありがたさ、個性。提案を通して、何か伝えられることはないだろうか。



若草通りの歴史と研究背景

若草通りとは宮崎県宮崎市にある、歴史ある商店街。

昭和 50 年頃につくられた商店街であり、かつては多くの店が軒を連ね、宮崎の流行の発信地として多くの人で賑わっていた。しかし、2005 年ごろに近隣に大型複合施設が設立されたことを受け、客足は遠のき、徐々にシャッターの目立つ寂しげな商店街へと変化してしまった。

かつては多くの人に親しまれ、愛された商店街。

店舗数や客足は減ってしまったものの、多くの人にとっての思い出の場所であり、長い月日を歩んできたからこそその味わい深さがそこにはある。

現在も若草通りに活気を取り戻そうと、イベントの企画や空き店舗を使っの出店など、活性化に向けて働きかける人々の姿は多くみられる。

その様な人々を後押しできるような仕組みや工夫が、必要なのではないかと感じる。

若草通りの現状について

宮崎市の中心市街地である、橋通りから分岐した通りの一つである。

宮崎県で最も大きく、使用人口も多い駅である JR 宮崎駅から徒歩 5 分程度のところにある。バスも多方面から通っており、アクセスは非常にしやすい。

しかしその分競争も激しく、周辺だけでも複数の複合施設や駅ビルが立ち並んでいる。

2020 年には駅の大規模な改装が行われ、駅に隣接した大型複合施設が設立。また、駅構内にも様々な店が並んでいる。



ストリートファニチャーについて

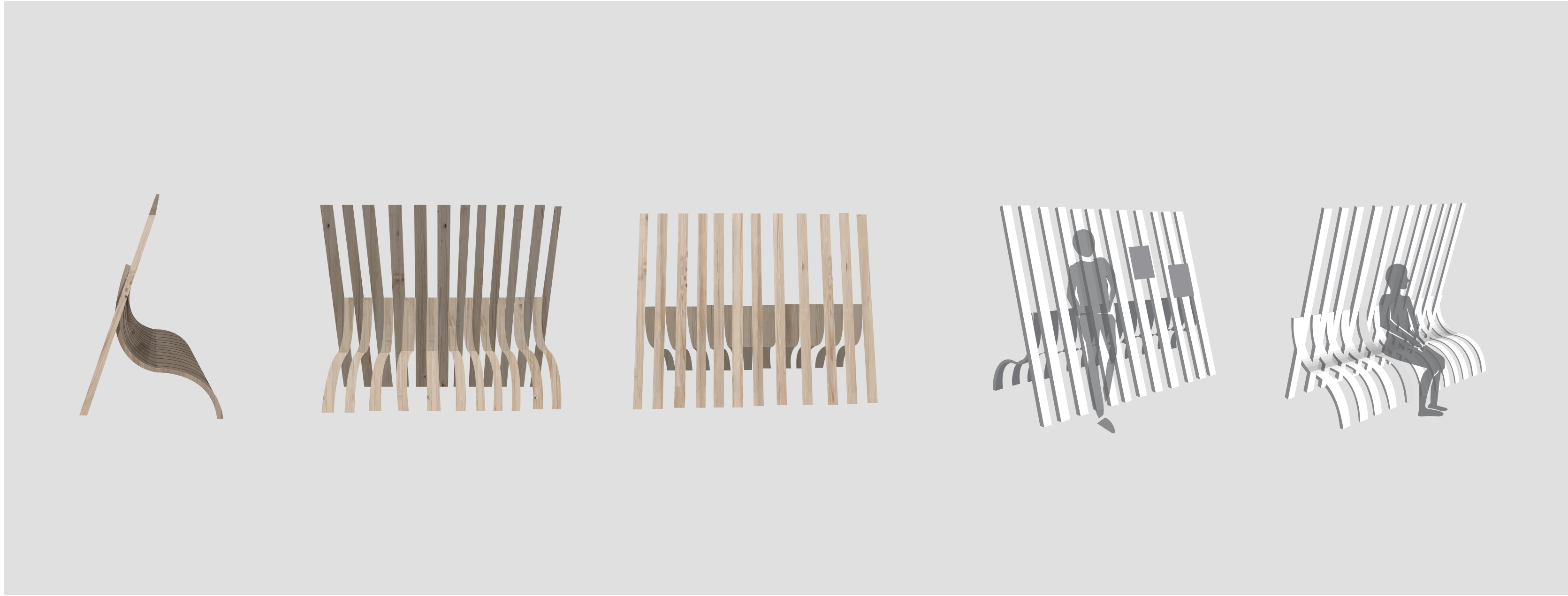
ストリートファニチャーは、自分自身の経験に基づいて考案した。

若草通りでたくさんの会話が発生してほしいと考え、自分自身が過去に友人と最もたくさんの会話をした場所を思い返したとき、真っ先に「学校からの帰り道」が頭に浮かんだ。

改まって会話をする場面より、片手間でフランクに会話をしているときの方が盛り上がるケースは少なくない。ストリートファニチャーには、その様な会話の発生をサポートする役割を込めた。

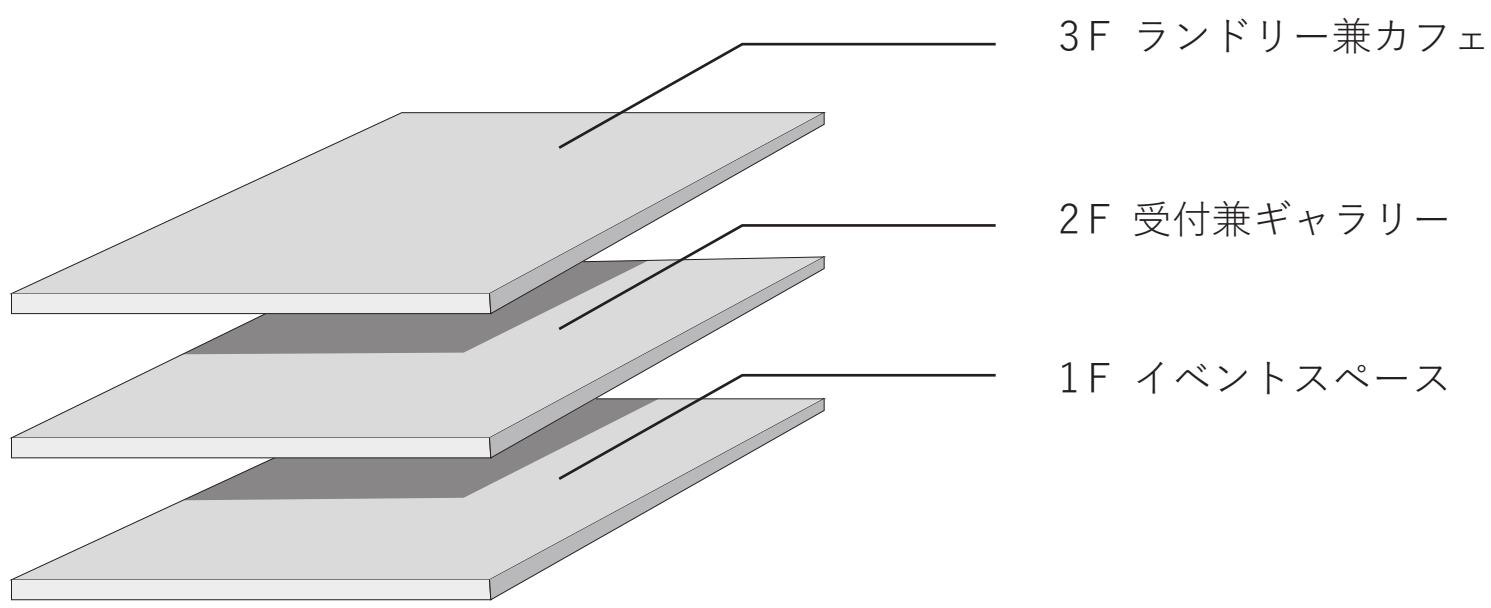
2 面あり、片面には傾斜を持たせ、軽く寄りかかれるように。もう片面は曲面とし、座ってくつろげるようにした。

材：舐肥杉（曲面は積層曲げ）



A棟

「まっすぐに伸びる飢肥杉の杉山」



- 1 階部分を「イベントスペース」
- 2 階部分を「受付兼ギャラリー」
- 3 階部分を「ランドリー兼カフェ」

として活用する。

- 2、3 階に一続きの吹き抜けを設け
天窓を設ける。

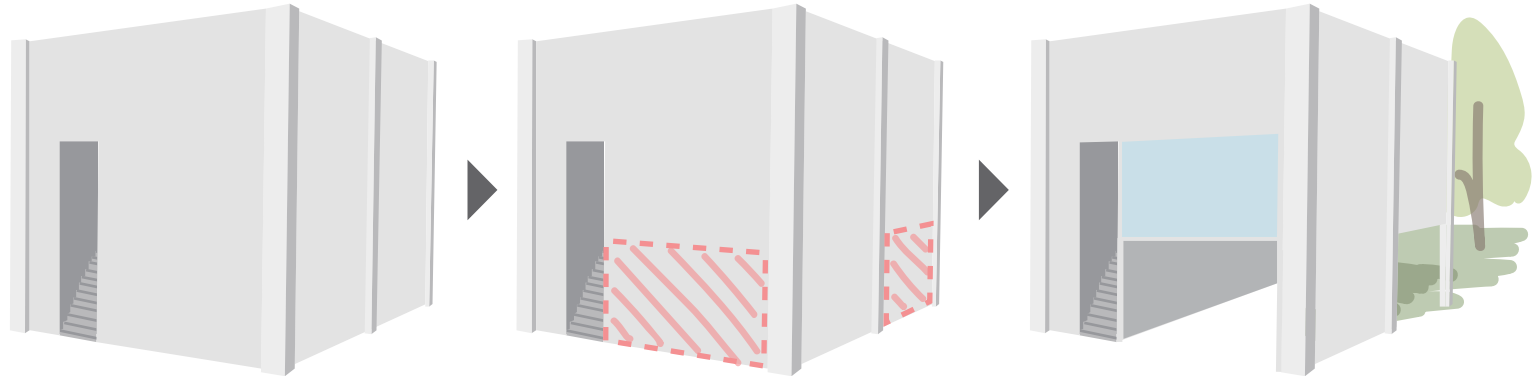
そこに飢肥杉の柱を複数本通すことで
空に向かって伸びる杉山の迫力を、棟内に表現する。



▲ A棟3階ランドリー兼カフェスペース

A棟
S=1：100

明るく開放的なイベントスペース



建物後方の空きスペースを中庭に変化させる。

A棟1階部分の壁を1部取り払い、
中庭まで一続きの空間とすることで
閉鎖感や圧迫感を緩和する。

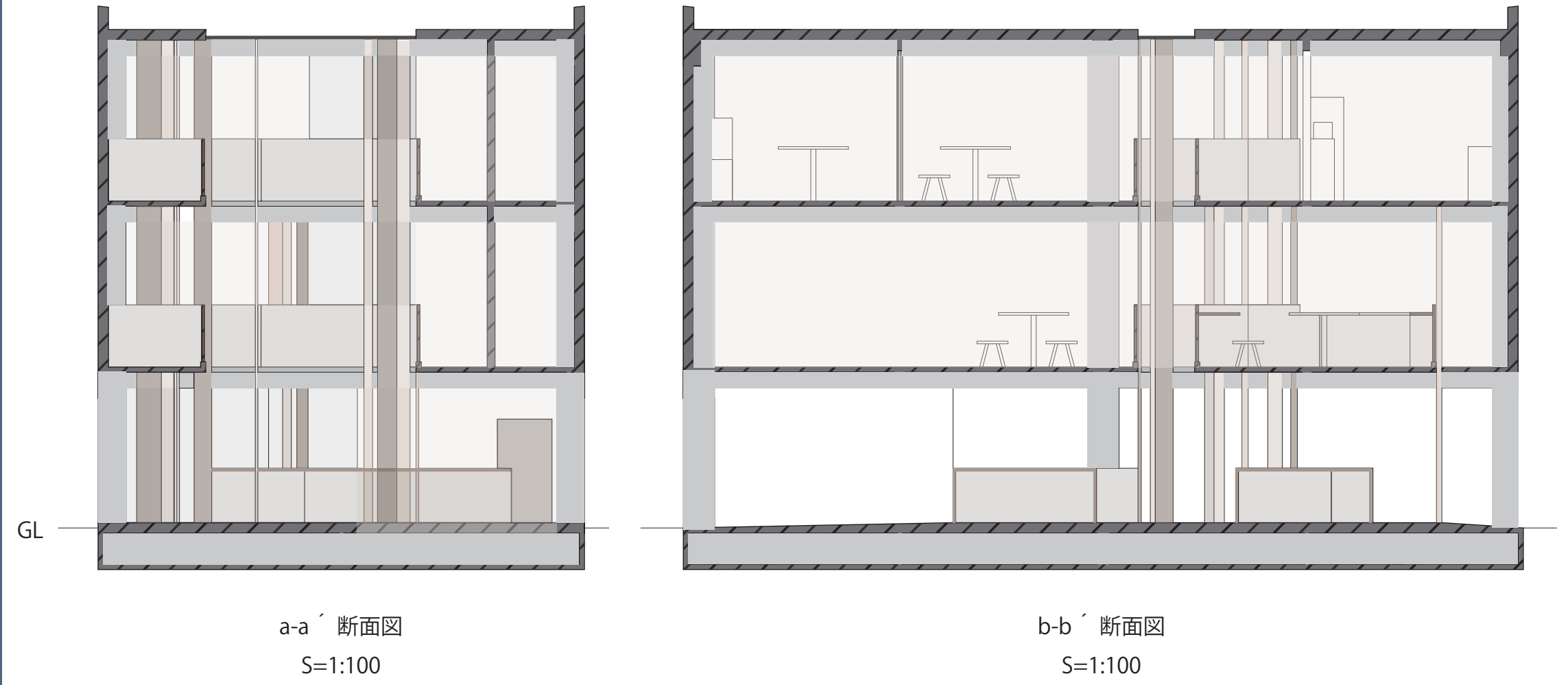
ドアや仕切りを極力減らすことによって
より入って行きやすい空間となることを意識した。



南雲勝志さんのプロダクト

プロダクトデザイナー 南雲勝志さんの
飢肥杉を使用したインテリアを
提案内で使用する。

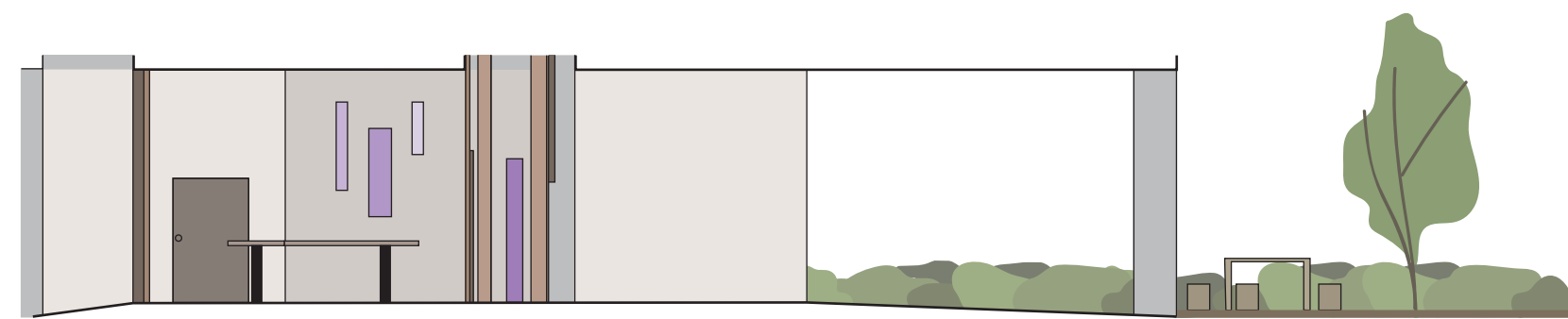




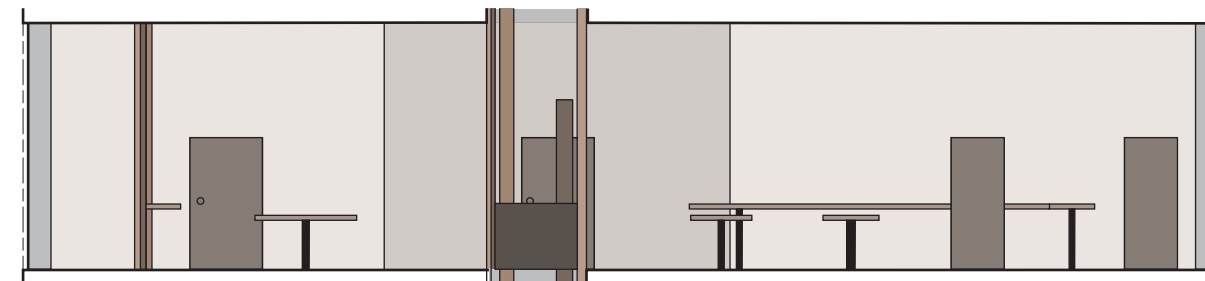
▲吹き抜け部分のモチーフとなっている飢肥杉の杉山



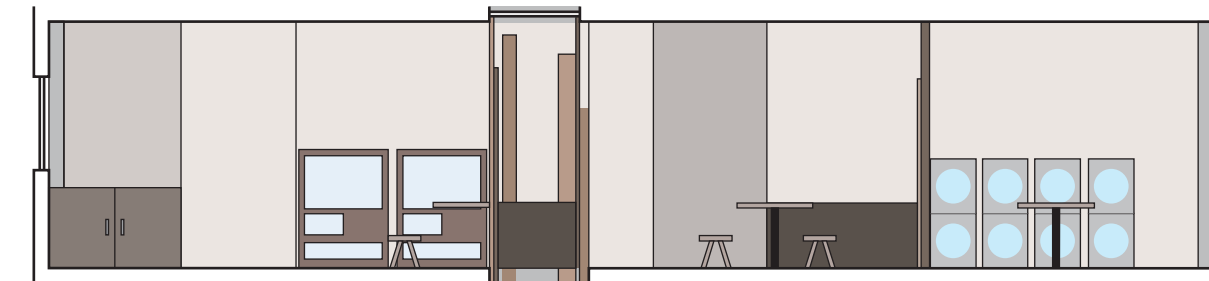
▲ A 棟 1 階から吹き抜けを見上げた図



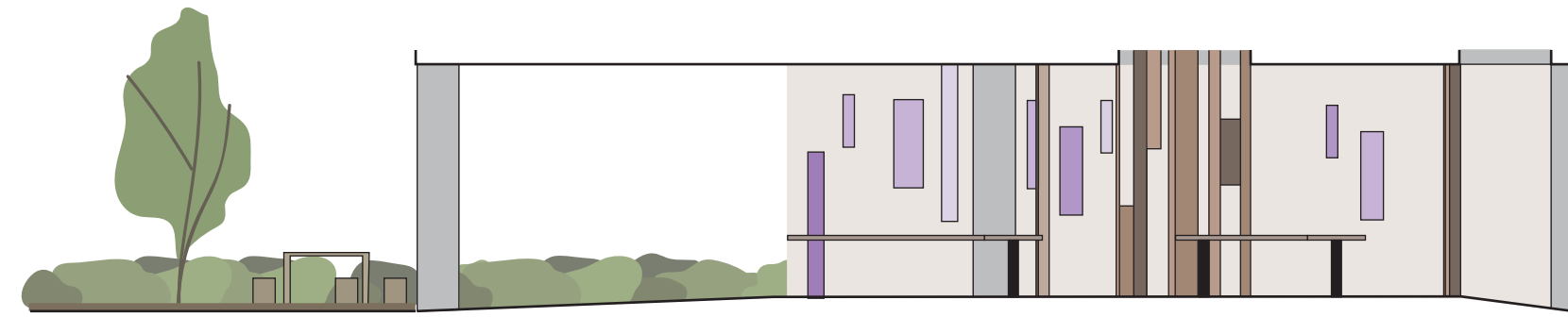
D 面図



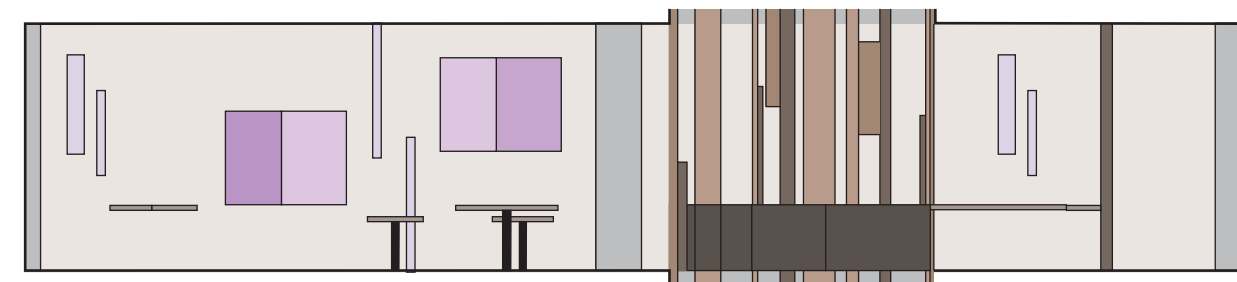
D 面図



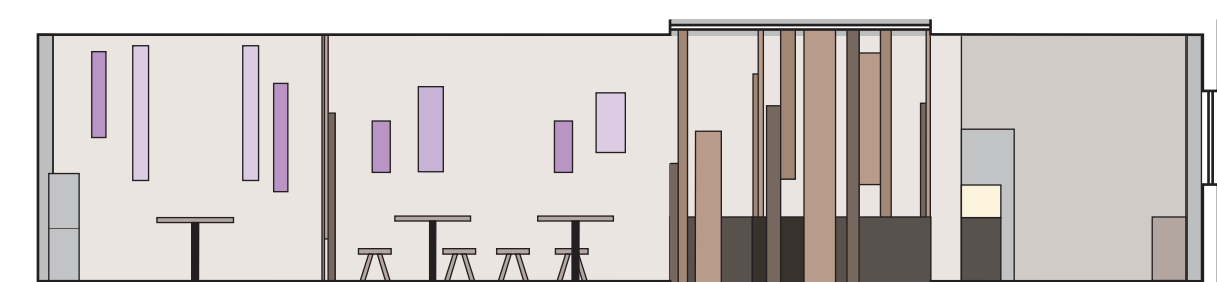
D 面図



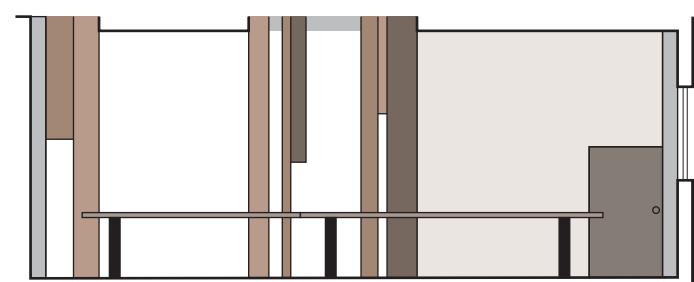
B 面図



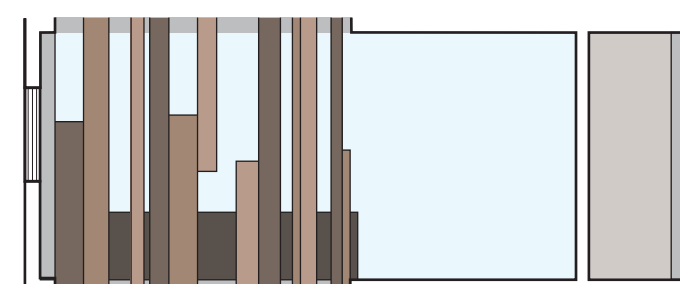
B 面図



B 面図



C 面図



C 面図

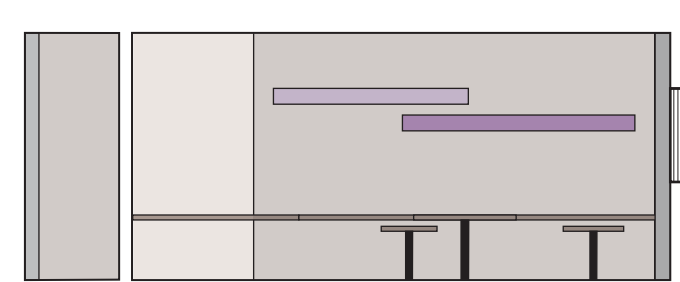


C 面図



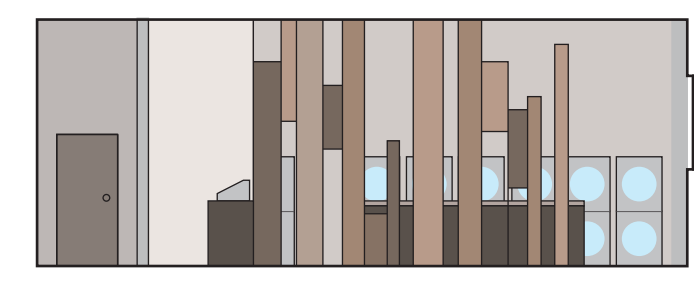
A 面図

A 棟 1 階展開図
S=1:100



A 面図

A 棟 2 階展開図
S=1:100

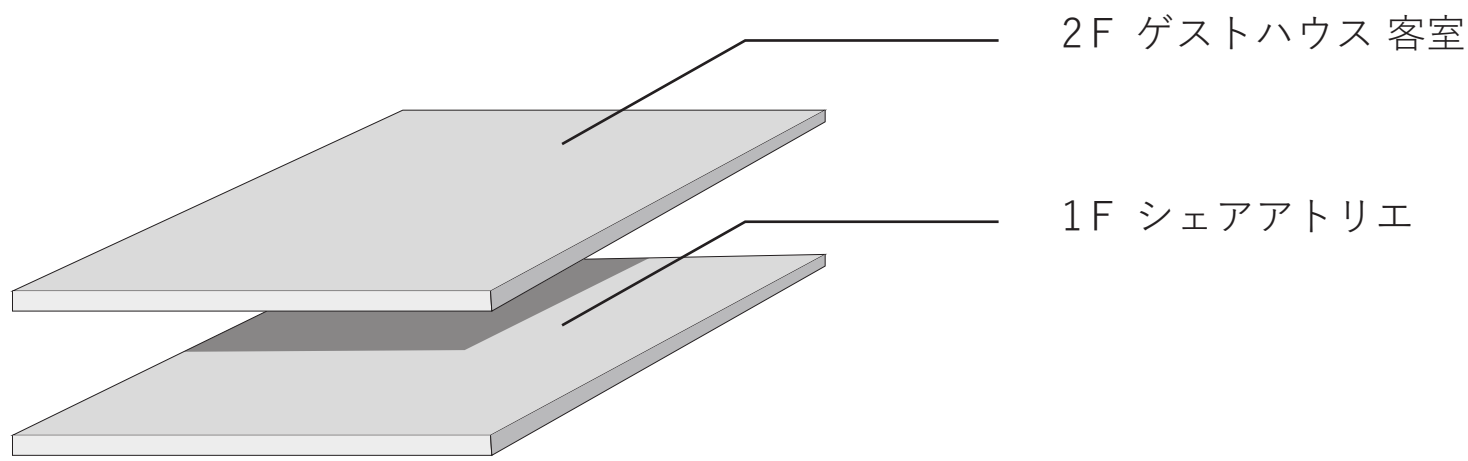


A 面図

A 棟 3 階展開図
S=1:100

B棟

「県花をモチーフとしたインテリアパネル」



1 階部分を「シェアアトリエ」
2 階部分を「ゲストハウス 客室」

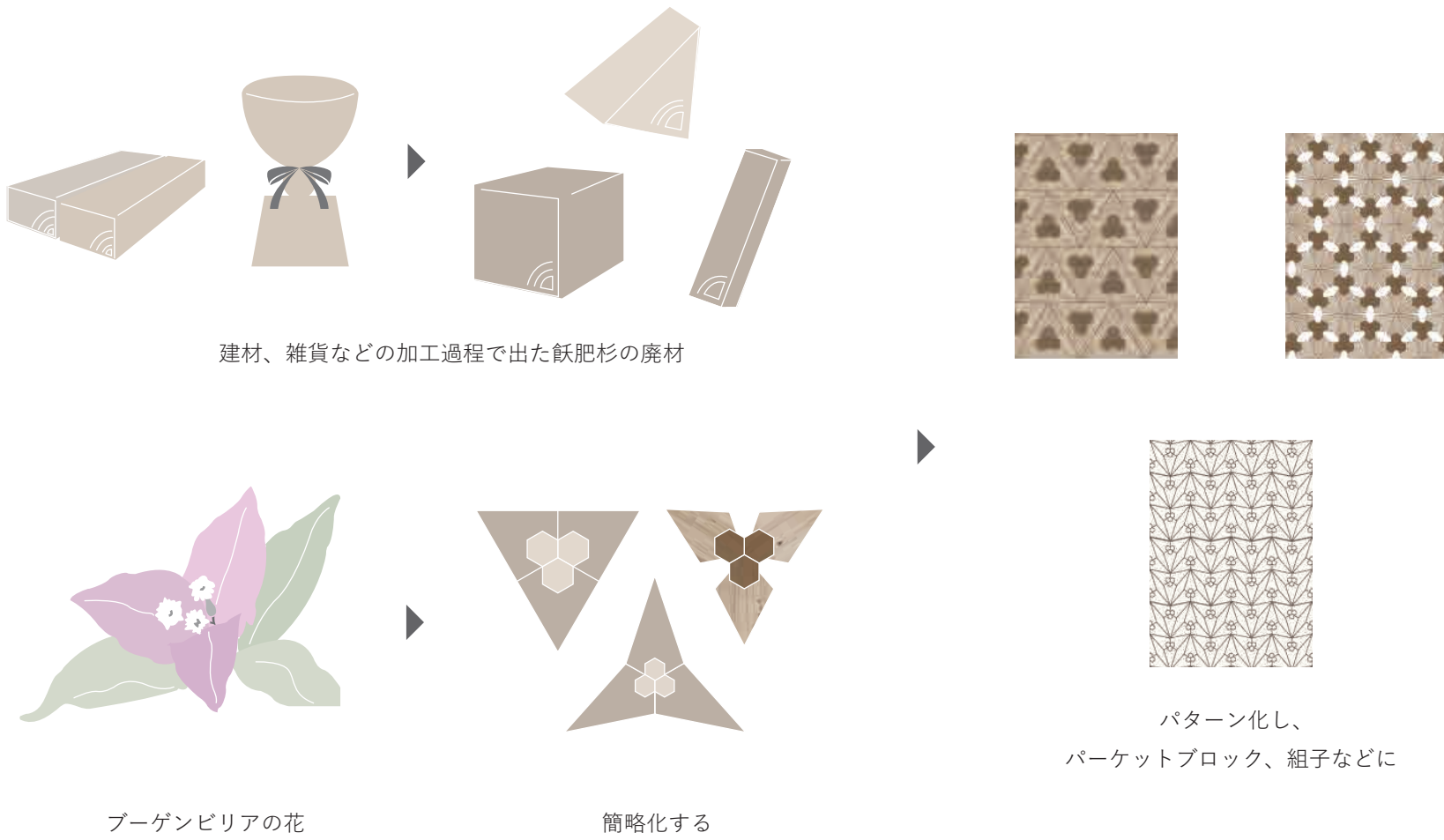
として活用する。

1 階はパブリックスペース
2 階はプライベートスペース
と、それぞれの用途差が明確なため
色調や材を工夫し、過ごしやすい空間となるように工夫した。



▲ B棟 1 階シェアアトリエスペース

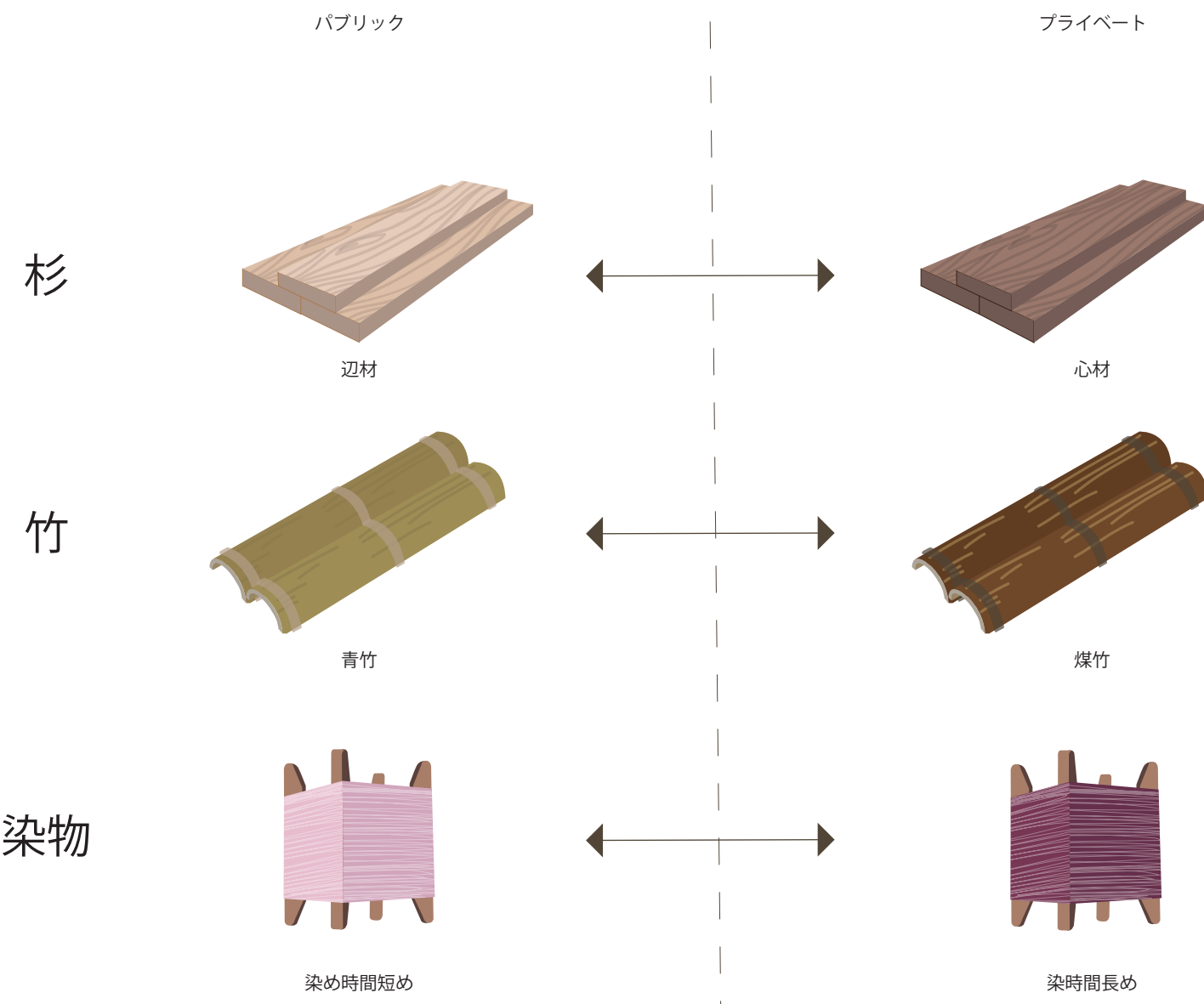
廃材を再活用した建材



飢肥杉の加工過程で出た廃材を
インテリアパネル、集成材、パーケットブロック、組子
などの、床材・壁材として再活用する。

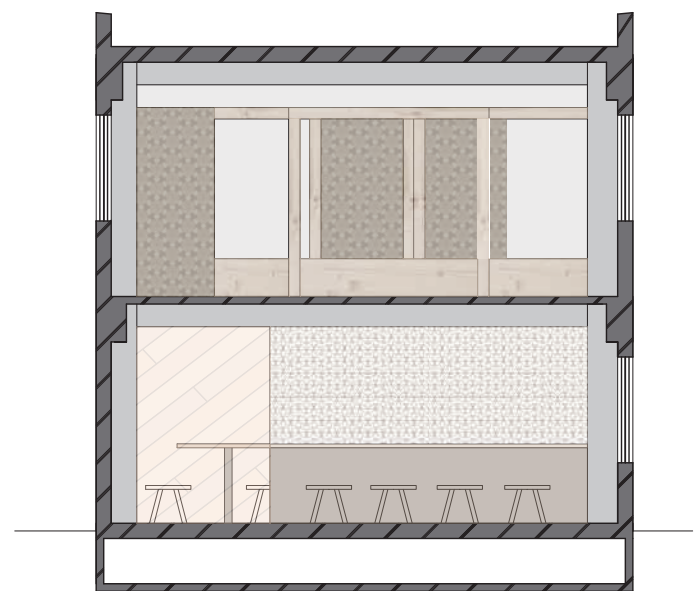
宮崎県の県花であるブーゲンビリアを
簡略化し、パターンデザインとすることで
宮崎らしさのある材となることを目指した。

パブリックとプライベートの差別化

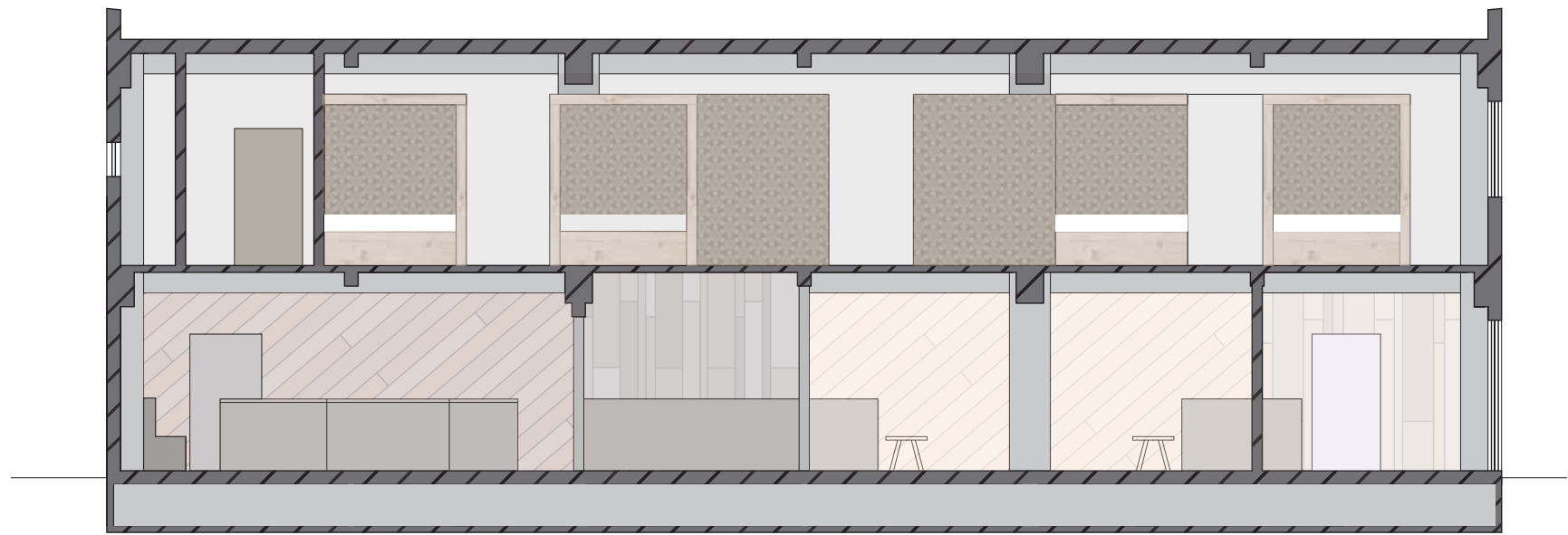


素材そのものが織りなす色味の差異で空間分けをする。
パブリックスペースは淡い色・明るい色を基調とした、明るく開放的な空間に
プライベートスペースは暗めの色を基調とした、シックで落ち着いた空間に。





a-a' 断面図
S=1：100



b-b' 断面図
S=1：100



▲ B棟 2階客室スペース

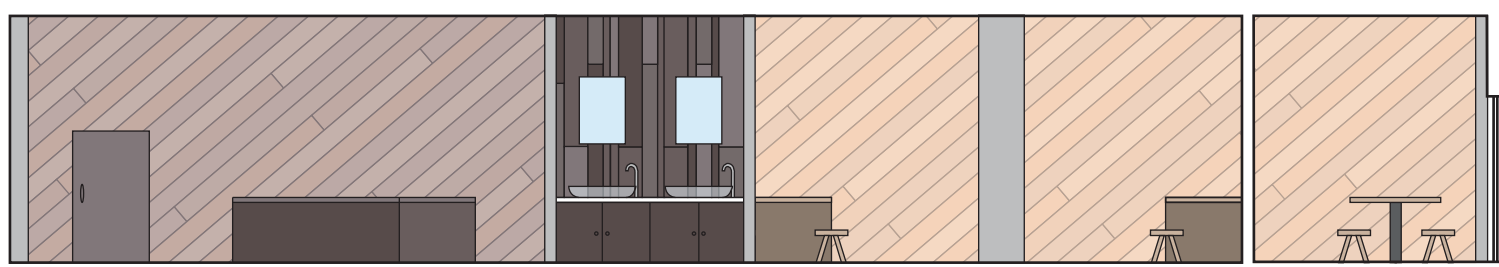


NITTKE の作品の展示・販売

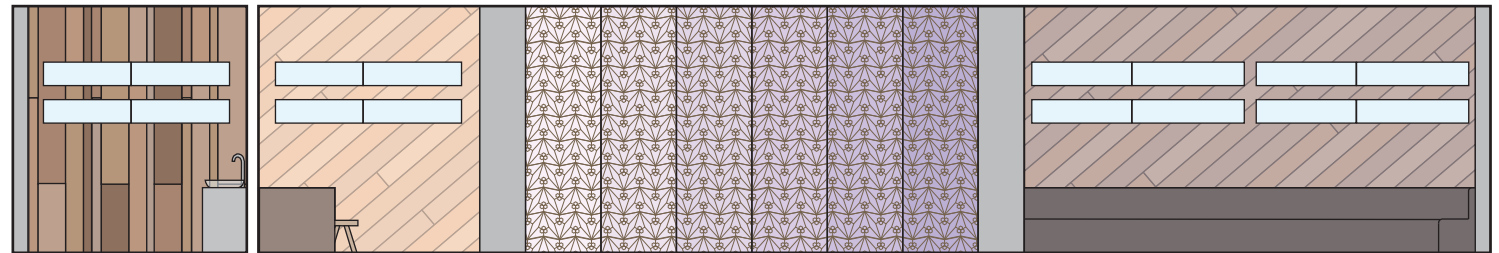
▲吉田周平さんの作品

放置竹林を活用したエンターテインメントの可能性を広げる活動を行う作家。
作品には、宮崎県日南市で育った竹が使用されている。

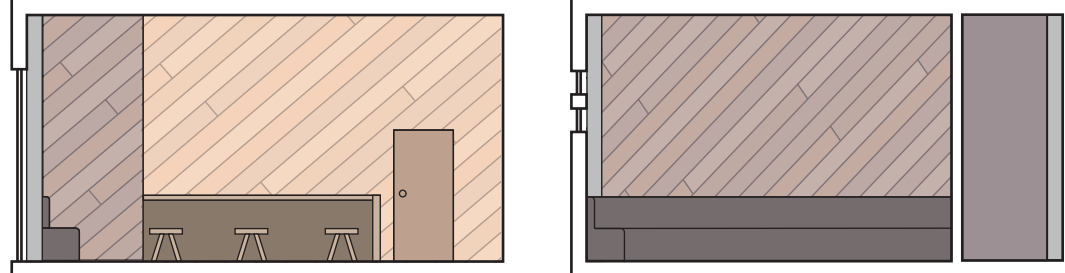
提案内では作品の販売促進、周知を目的として
この作品をグランドライトとして使用した。



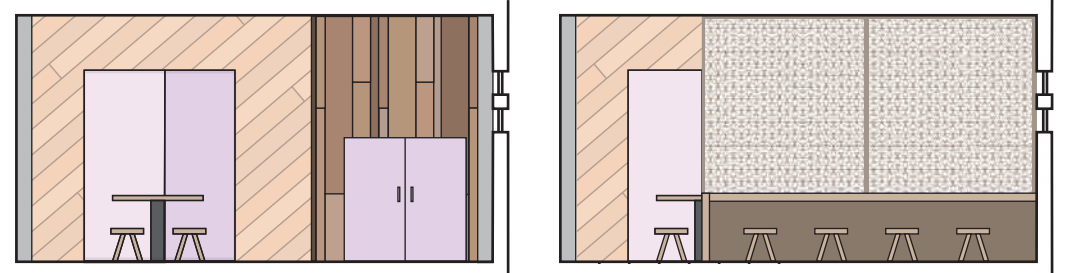
D 面図



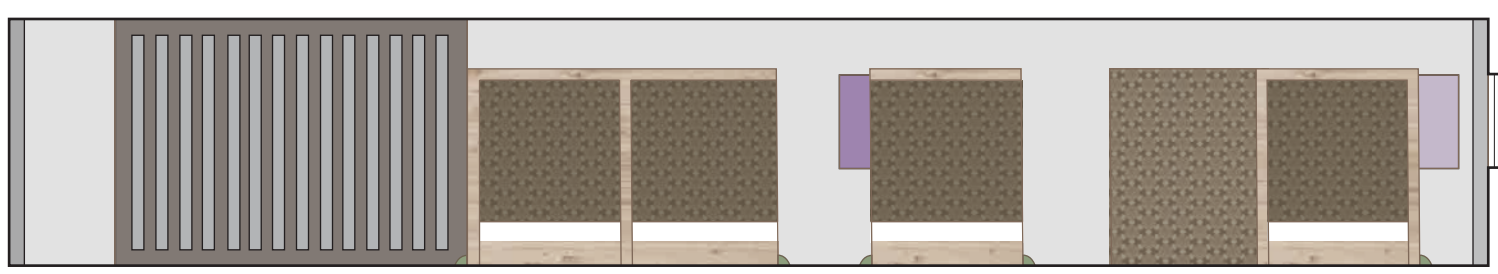
B 面図



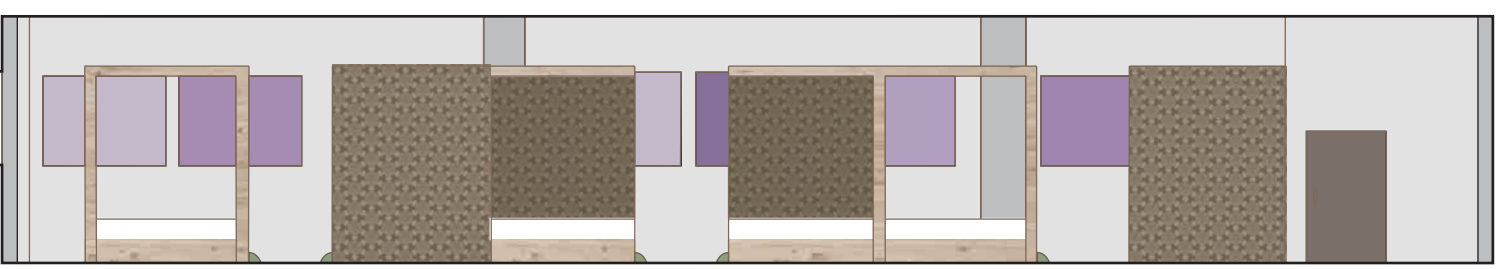
C 面図



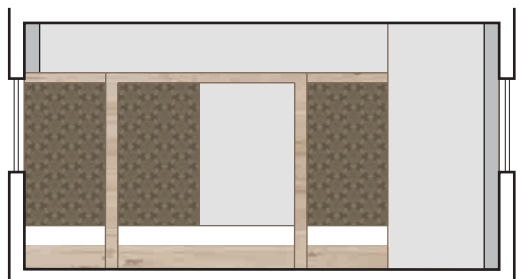
A 面図



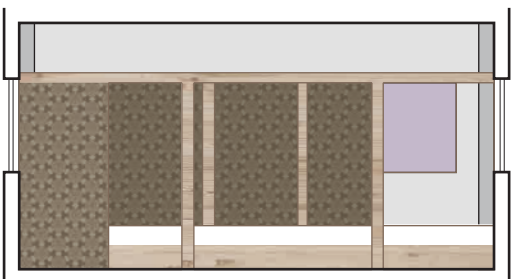
D 面図



B 面図



C 面図



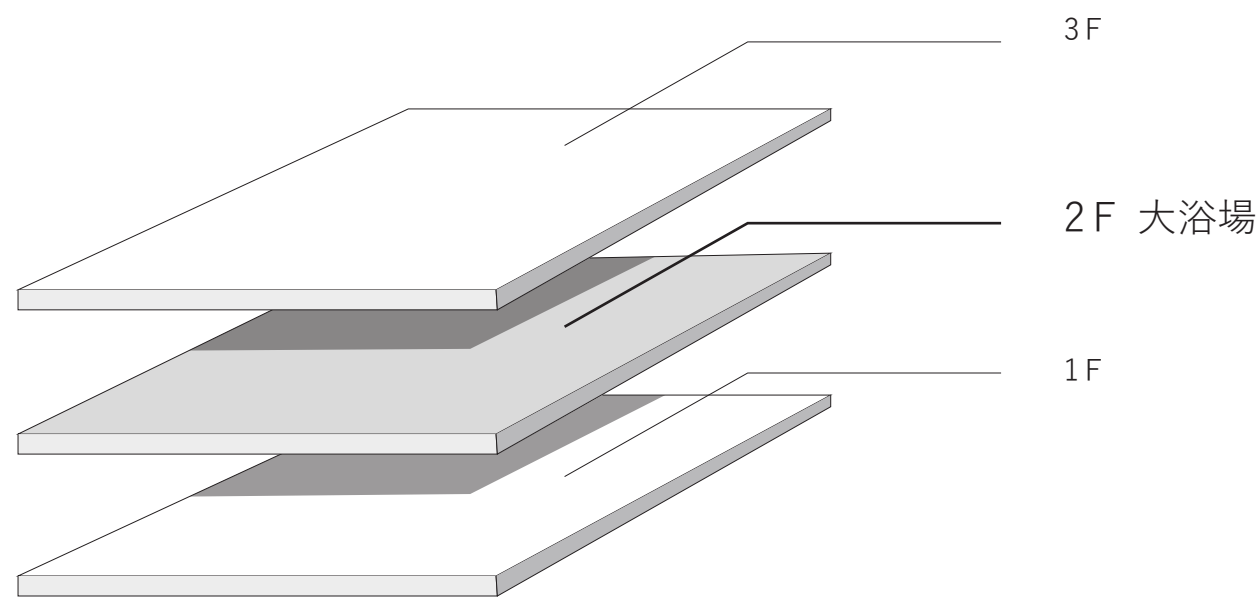
A 面図

B棟 1階展開図
S=1:100

B棟 2階展開図
S=1:100

C棟

「ハマグリ基石のタイルとしての可能性」



2 階部分を大浴場として使用する。

1、3 階は既に使用されている為、手を加えない。

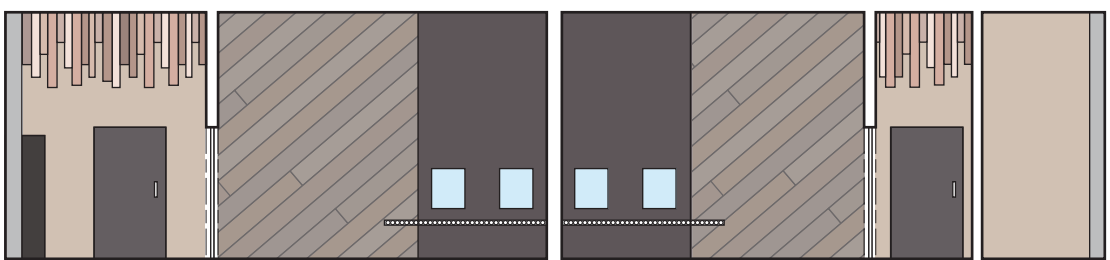
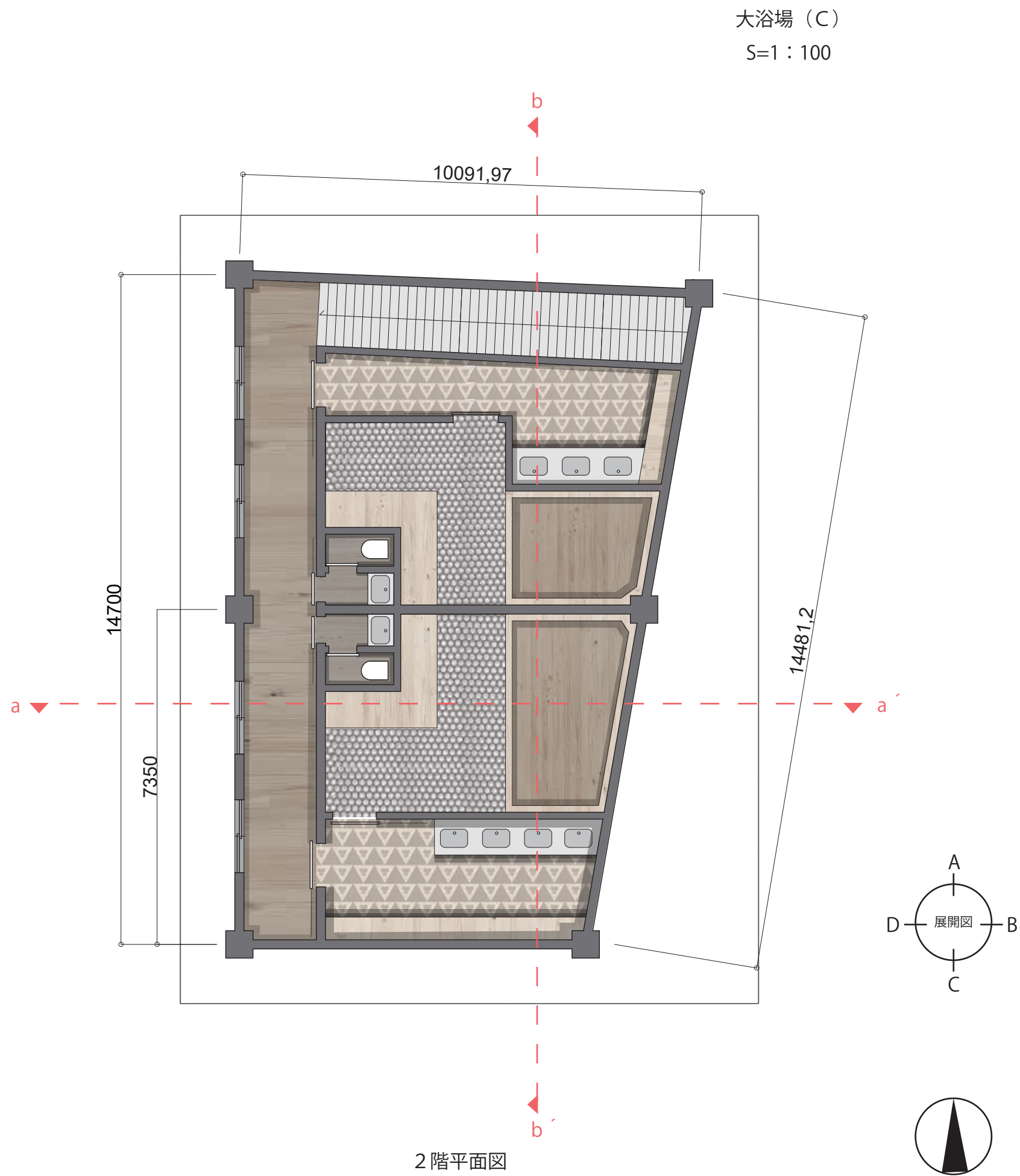
客室と浴室を別々の棟に分けることで
宿泊者の移動範囲が広がること
地元の人と宿泊者の出会いの機会を増やすこと
を目指した。



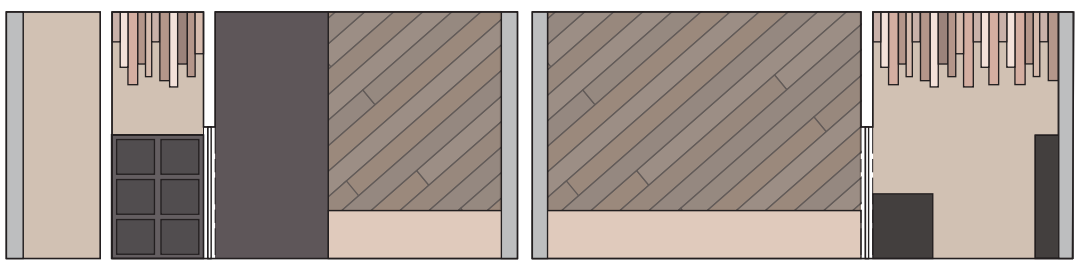
▲ C棟 2 階大浴場スペース

ハマグリ基石をタイルとして活用

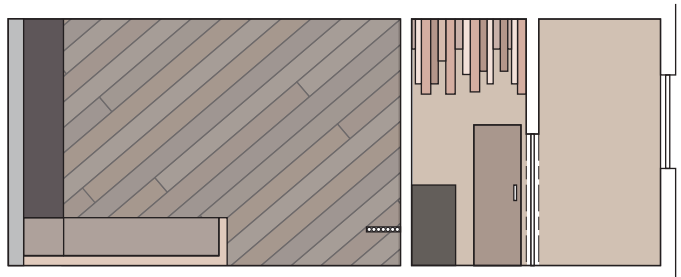
ハマグリ基石とは、宮崎県日向市で作られる
ハマグリを原料とした基石である。
つるつるとした質感と、様々な色に染められる点から、
タイルとしても活用できるのではないかと考え、
大浴場の床に活用した。



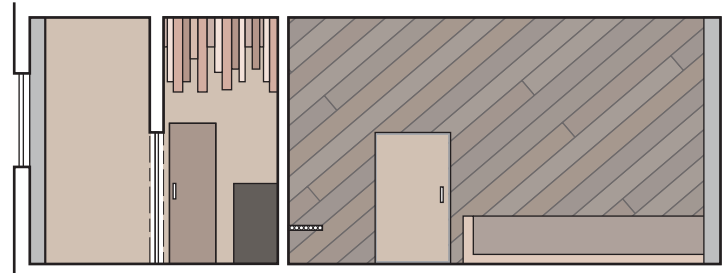
D 面図



B 面図

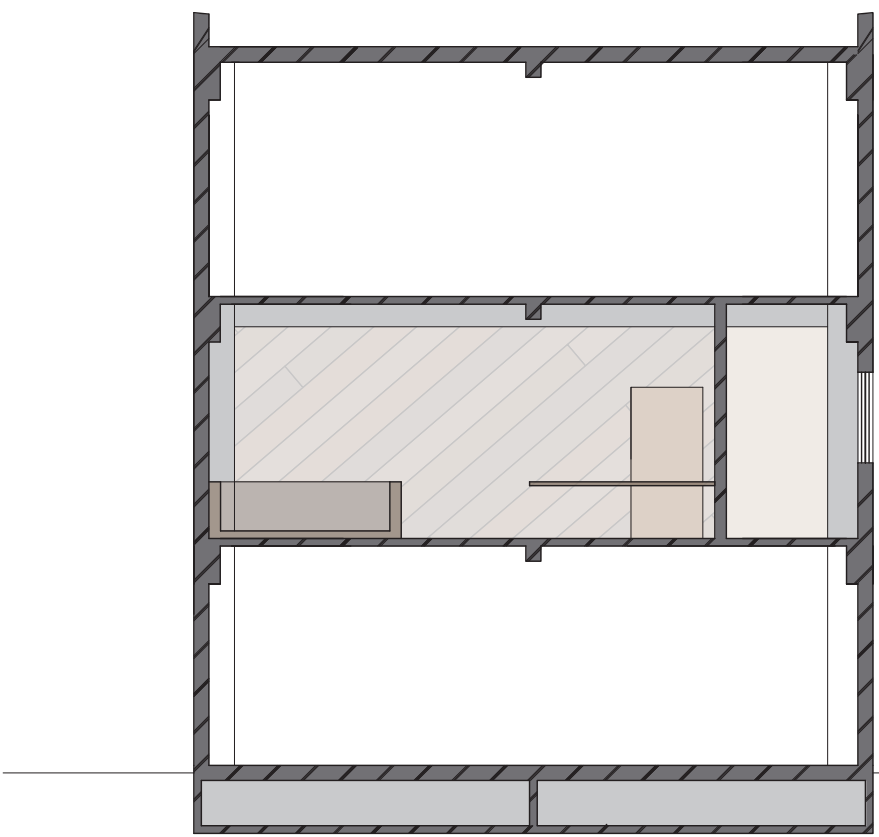


C 面図

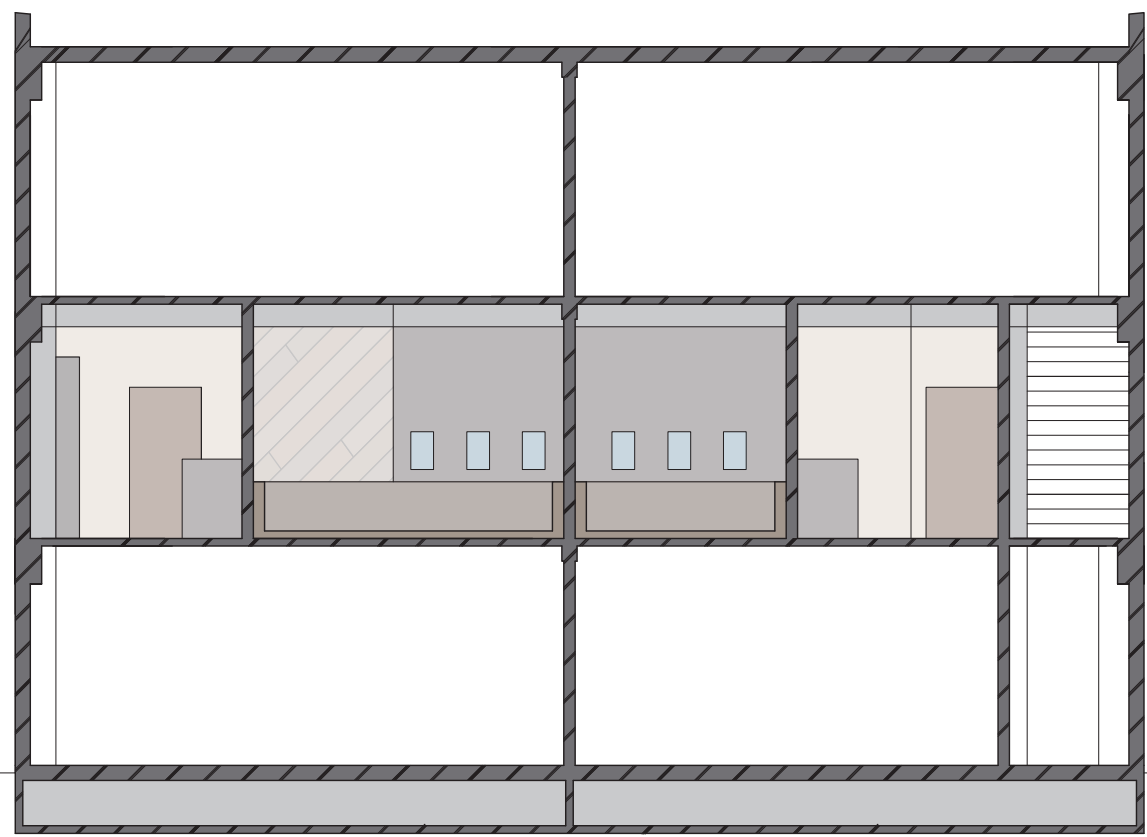


A 面図

C 棟 2 階展開図
S=1:100



a-a' 断面図
S=1:100

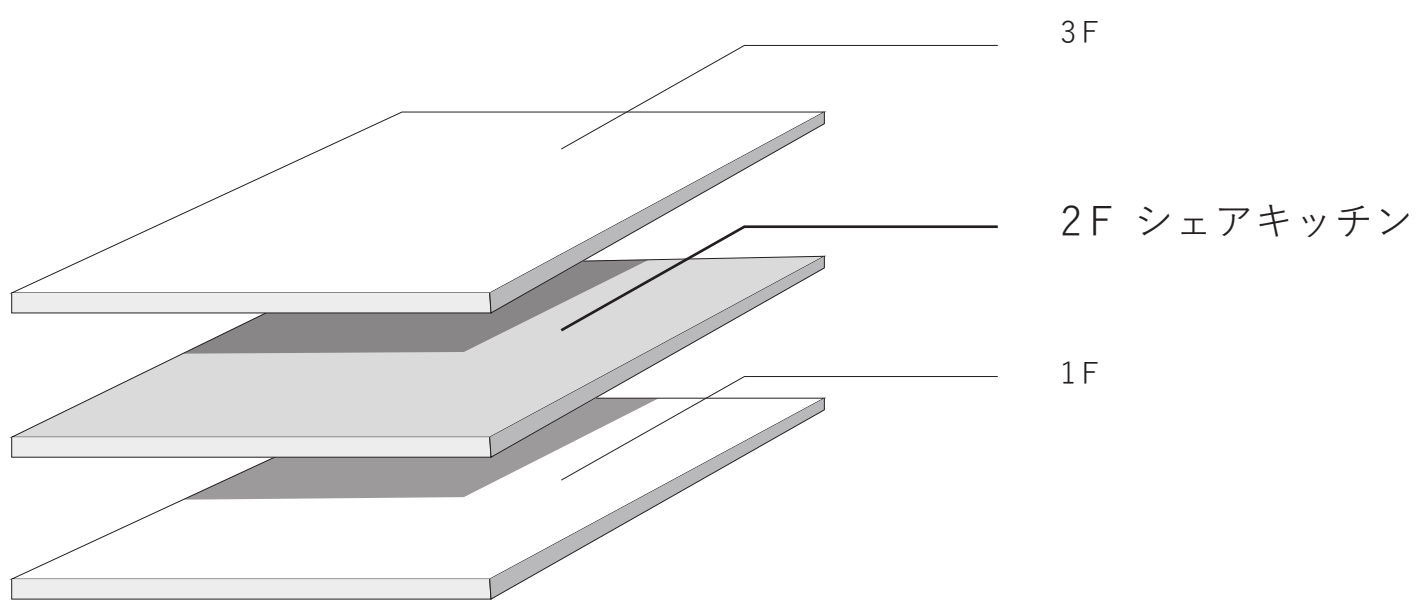


b-b' 断面図
S=1:100

GL

D棟

「貝紫で染色した和紙ガラス」



2階部分をシェアキッチンとして使用する。

1, 3階は既に使用されている為、手を加えない。

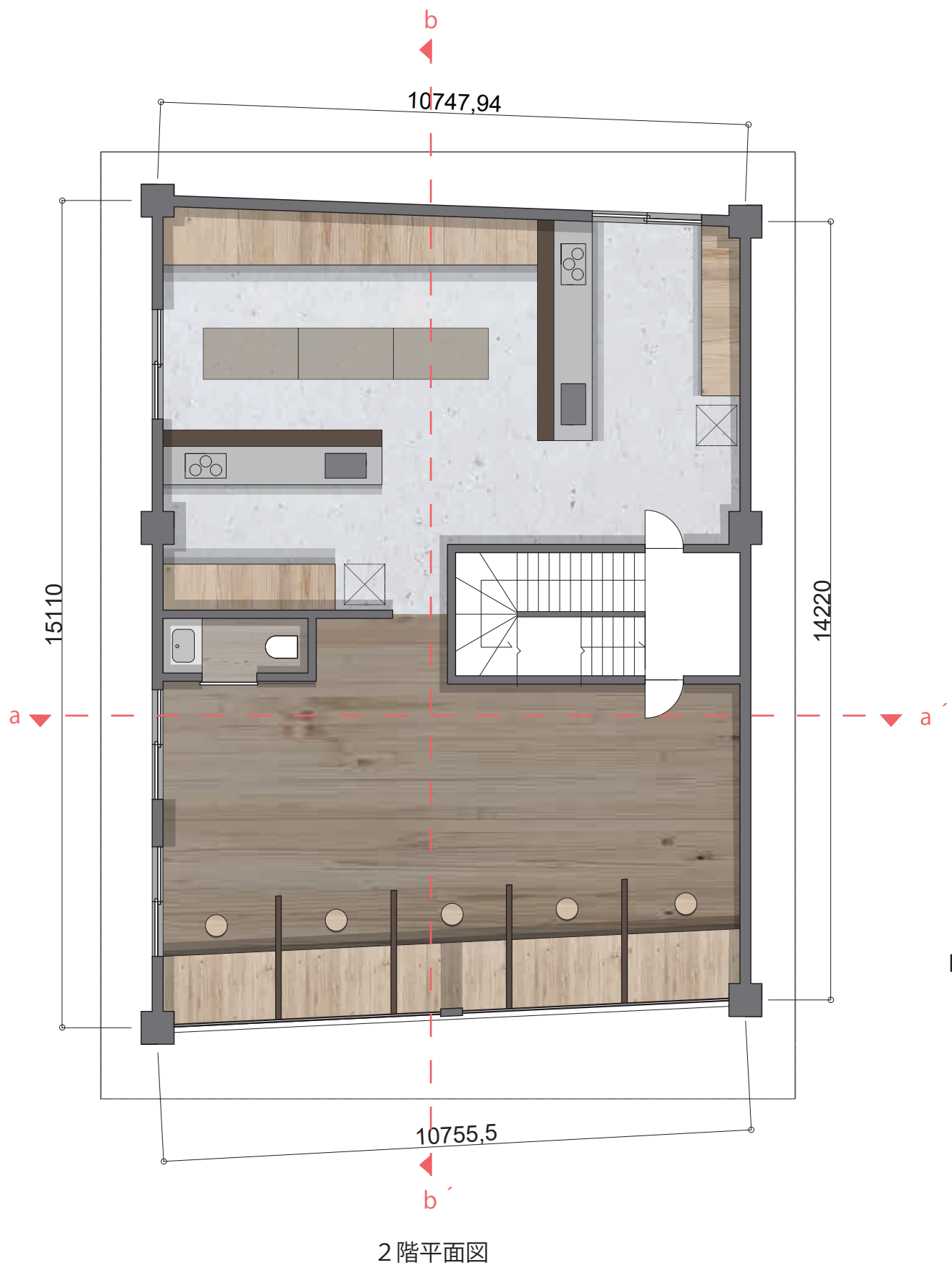
シェアキッチンは、
お互いの存在は目に入るが、作業中視線が重なることはあまりないよう
それぞれの作業台に角度や高さの差をつけた。

自習室は
各テーブルに仕切りをつけ、半個室にしたが
閉鎖感が出ないよう、前面をガラス張りにした。

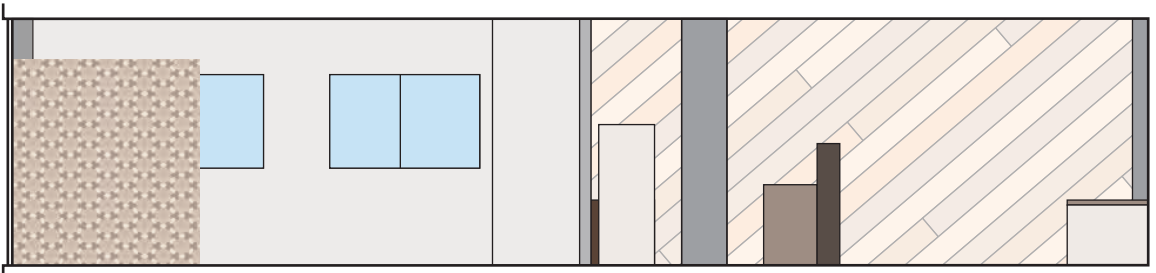
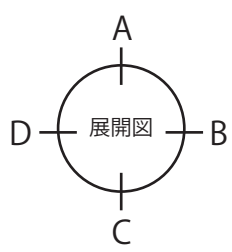


▲ D棟 2階シェアキッチンスペース

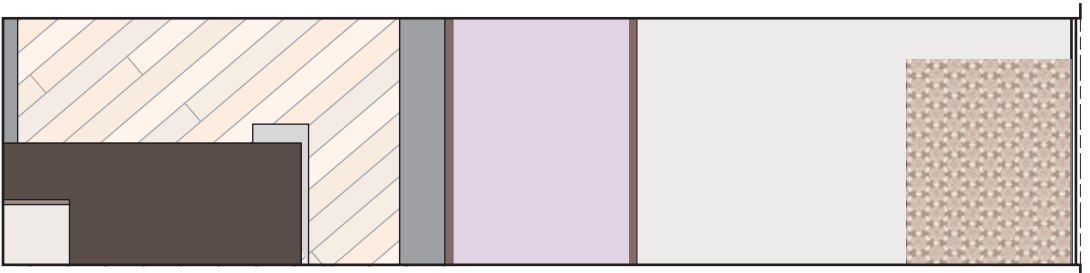
シェアキッチン (D)
S=1:100



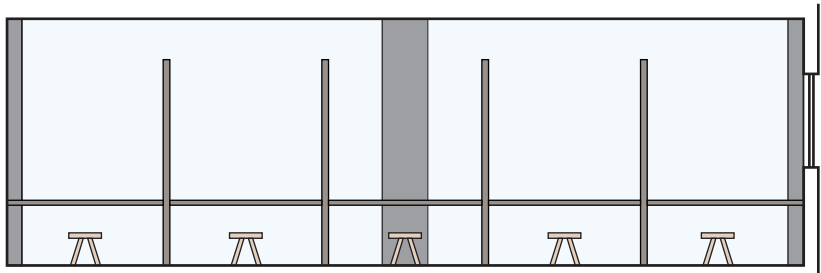
2階平面図



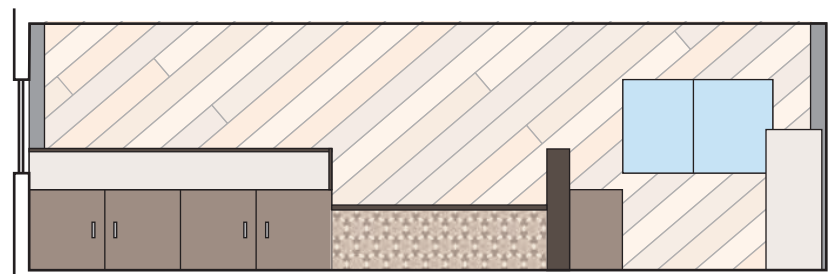
D面図



B面図



C面図



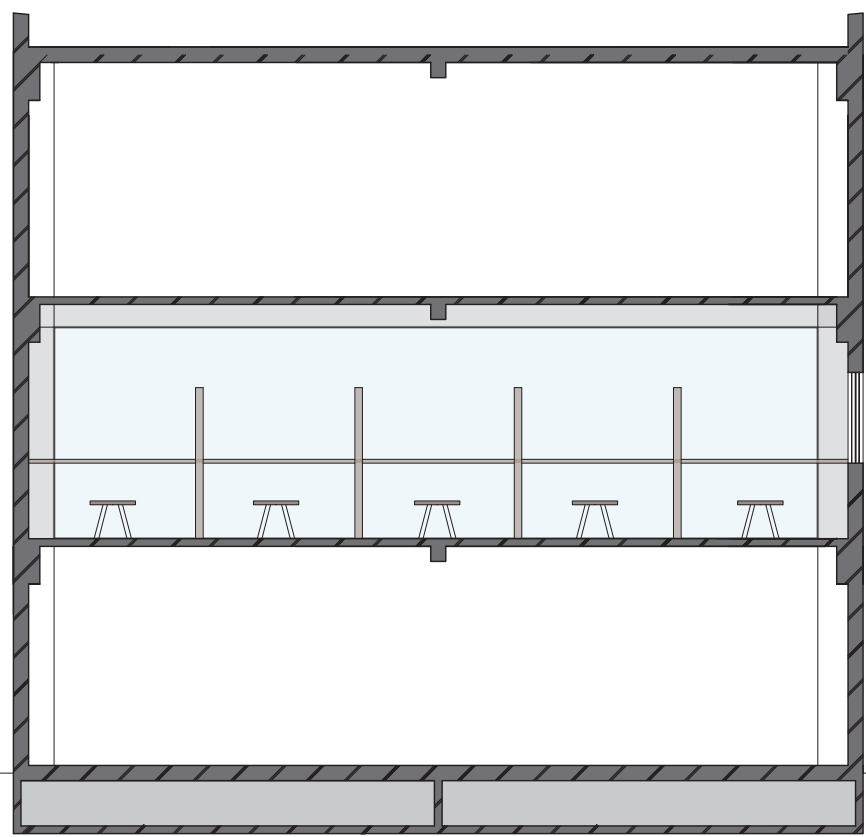
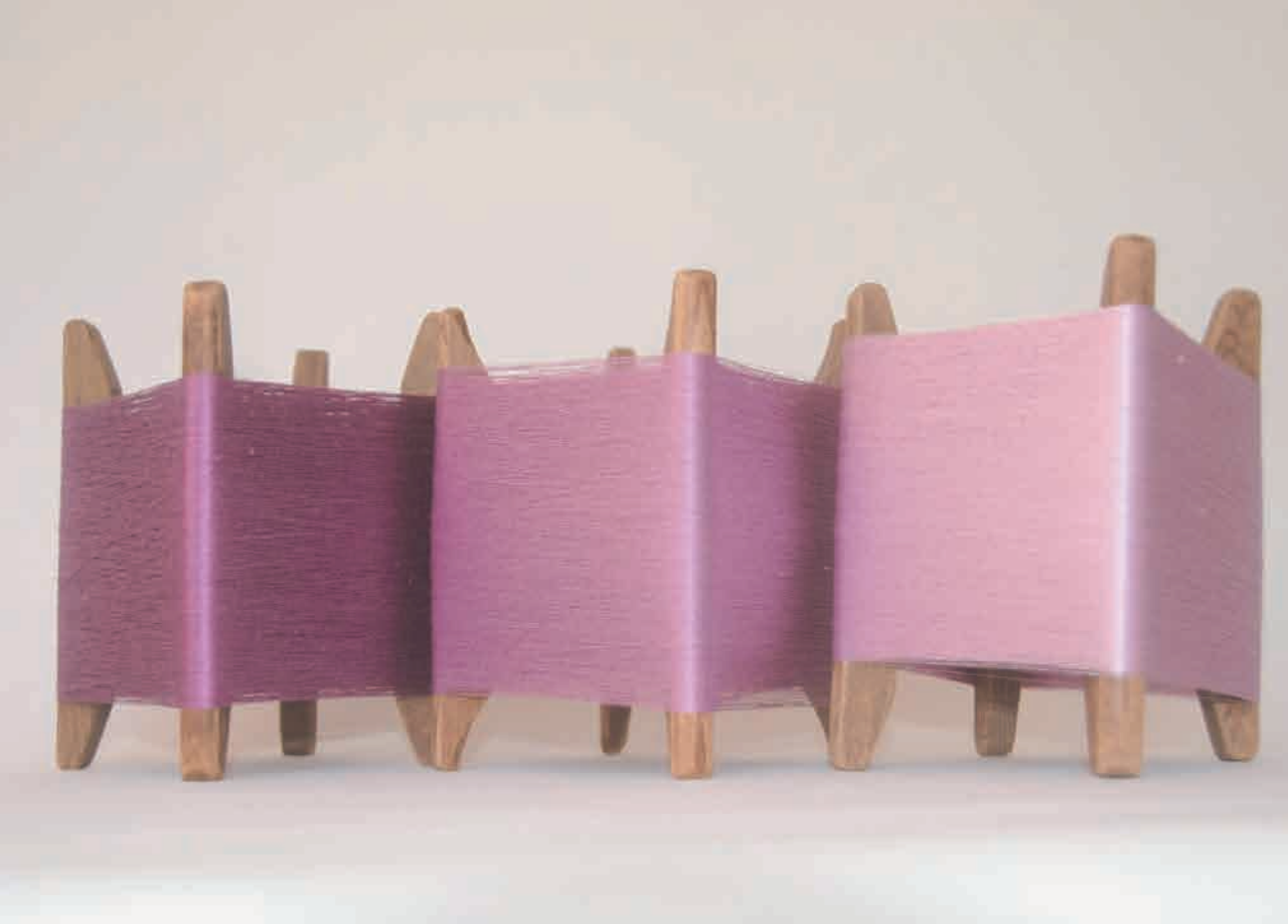
A面図

D棟 2階展開図
S=1:100

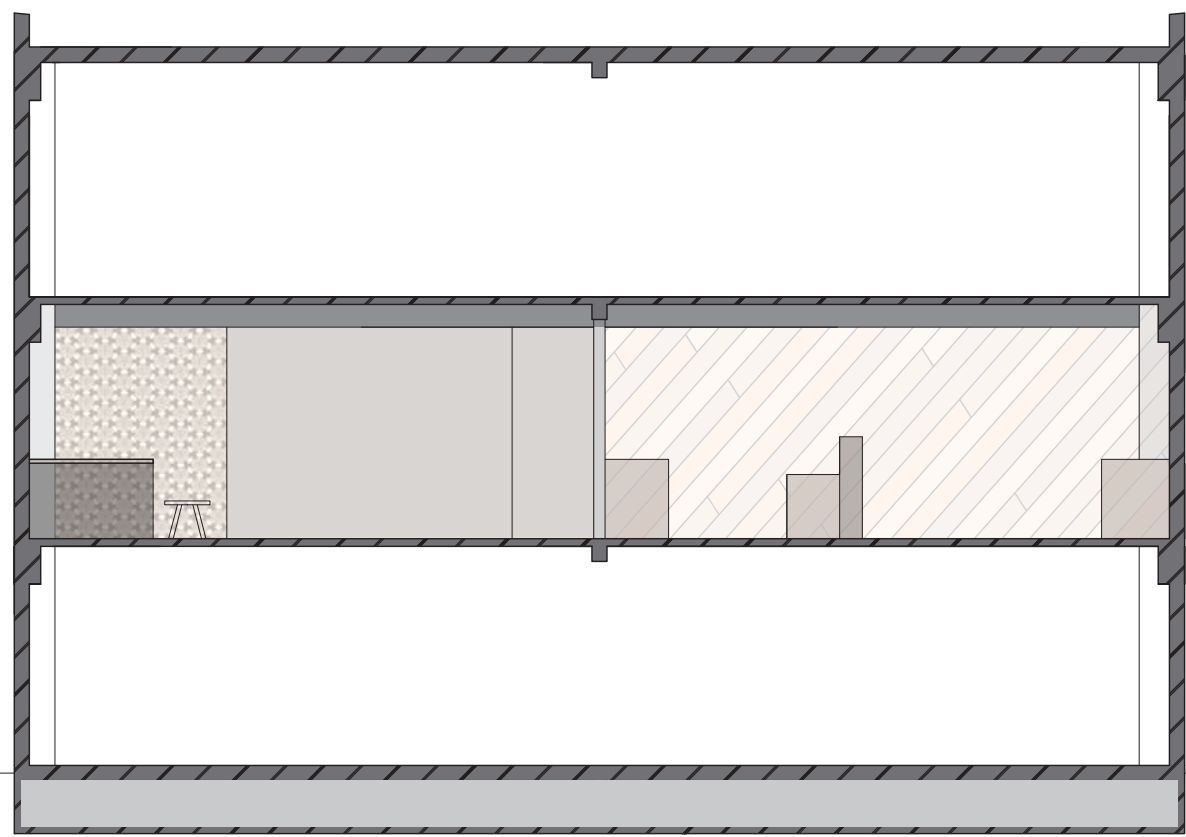
貝紫の染物を様々な用途で使用

貝紫の染物は、液に浸す時間によって濃淡に差が出る。
浸す時間を短くすれば淡い薄紫に
浸す時間を長くすれば濃い赤紫に染まる。

この性質を活かし、和紙を貝紫で染め、ガラスで挟み込むことで
ステンドグラスのような用途となることを目的とする。



a-a' 断面図
S=1:100



b-b' 断面図
S=1:100

GL